



聴覚障害者が自立できる社会づくりを

熊澤 英也さん

「3歳ころに、高熱が原因で耳が聞こえなくなり、幼いころは、物に名前があることを理解するまでが大変でした。また、社会人になってからも、職場での意思の疎通がなかなかとれず、転職したこともありました」とこれまでの苦勞を手話で伝えてくださいます。

また、転職先では、自ら手話通訳者を頼み、朝礼に出たり、全国各地で行われる研修会に参加するなど、積極的に知識を広げてられました。

平成12年には、同じ障害がある方々の「自立をしたい」という相談をきっかけに、「野田市聴覚障害者協会」を設立し、10周年を迎える今まで会長を務めています。

「おかげさまで、市に要望を続けた結果、社会福祉課の窓口到手話通訳者が設置されました。家にももっているろう者が一人でも多く、社会に出てこられるよう、活動を続けていきたいです」と笑顔で結びました。

野田市聴覚障害者協会会長・岩名二丁目在住・昭和20年生まれ

紙上公共施設見学会 「関宿中央ターミナル」

関宿支所やせきやど図書館のある「いちいのホール」から県道結城野田線を北に約1・5キロメートル進み、宝珠花橋のたもとを右に曲がったところに関宿中央ターミナルがあります。

次木親野井土地区画整理事業区域のほぼ中心の場所に、広さ約3千700平方メートルで、平成9年度に整備されました。

関宿地域の中心地区にあることから、川間駅や埼玉、茨城方面などへ向かう民間バスが、1日中往来しています。

また、各駅までの所要時間は、



隣接地には無料の自転車等駐車場が

東武野田線の川間駅まで約16分、同伊勢崎線の東武動物公園駅まで約30分、同春日部駅まで約33分です。

また、各駅までの所要時間は、



さらに、ターミナル周辺では、まちづくりとして次木親野井土地区画整理事業が進められています。同事業地区内の宅地(保留地)は、公売中です。

詳細は、同事業事務所 ☎7198-1115へ

トピックス

一人ひとりの長寿を祝い 記念品を市長が手渡し

多年にわたり社会に尽くしてこられた高齢者の長寿をお祝いしようと、9月4日と5日、根本市長が95歳の市民44人を訪問した。

山崎正さん(山崎)は、「頭を使い、クロスワードなどを解くこと」と、小沼正一さん(木間ヶ瀬)は、「規則正しい生活をする」と長寿の秘けつを話していた。



元氣に出迎えた山崎さん(上)と小沼さん(下)

鮮やかな色が残る

130年前の大型地図

郷土博物館では、収蔵品として昨年度入手した、明治時代初期の「関宿台町文書」96点を9月12日に、市民会館で特別公開した。

中でも関宿台町全体が描かれた、20畳ほどにもなる明治15年ころの地図は、農地や住宅、道路、水路などが細かく色分けされ、保存状態もよい貴重な資料。訪れた見学者は、絵図の迫力に見入っていた。



市民の研究グループが解説を